

中医協 総-1-5
19.5.16

平成 18 年度診療報酬改定結果検証に係る調査
後発医薬品の使用状況調査
報 告 書

目 次

1. 調査の目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	1
4. 調査項目	2
5. 結果	3
(1) 回収の状況	3
(2) 薬局の属性（平成18年10月）	4
(3) 取り扱い処方せんの状況（平成18年10月）	8
(4) 後発医薬品への対応の状況（平成18年10月）	21
(5) 医薬品の備蓄状況（平成17年10月および平成18年10月）	36
(6) 後発医薬品へ変更した場合の、保険医療機関への情報提供	42
(7) 後発医薬品の使用状況（平成18年10月23日～29日の状況）	47
6. まとめ	50
7. 調査票	51

1. 調査の目的

保険薬局における「後発医薬品への変更可」に処方医の署名等がある処方せんの受付状況等の把握、および保険薬局において実際に後発医薬品に変更して調剤した医薬品の状況等の把握を目的とした。

2. 調査対象

全国の保険薬局から無作為抽出（都道府県別に層化）した1,000施設であり、「保険医療機関等における医療費の内容が分かる明細書の発行状況調査」の調査対象と同一である。

3. 調査方法

自記式調査票の郵送配布・郵送回収とし、本調査の調査票と「保険医療機関等における医療費の内容が分かる明細書の発行状況調査」の調査票を同封して配布した。調査は平成18年11月に実施した。

本調査では、施設属性、処方せん枚数等を尋ねる様式1と、実際に調剤した薬剤料を尋ねる様式2を配布した。様式2においては、後発医薬品への変更状況について、薬局の負担を軽減し回収率を上げるため、10/23～10/29の1週間の状況に限定して調査した。